

函館フットボールパーク 第4回 キックベースボール大会 大会競技ルールについて

■大会のレギュレーションについて

- ・試合は**5イニング**を1試合とする。但し、**30分**を経過した時点で4イニング目まで進んでいない場合は、30分経過時点のイニング（表・裏）で終了とする。
（30分を超えて次のイニングには入らない）
- ・30分経過した時点でのイニングが、**40分**経過しても終了しない場合はその時点で時間切れ終了とし、その前のイニング終了時点での点数で勝敗をつける。
- ・**3イニング目終了時点にて、10点以上の差がついた場合はコールドゲームとする。**

■大会ルールについて

- ・攻撃側のプレイヤーが、3人アウトになると攻撃・守備が交代する。
- ・女性選手が出塁した場合、**1点**を与える。
- ・守備は**最大7人**で行う。但し、男女混成チームについては4人まで女性を**0.5人（5人目以降は1人）**としてカウントし、**最大9名**まで守備位置につくこととできる。
女性みのチームは、最大11名まで守備位置につくことができる。
- ・投手・捕手は置かない。本塁の守備については、打者が蹴った後に守備につくことができる。
- ・守備位置は常識の範囲内で自由とするが、打者が蹴る前にバントラインより前で守備をしてはならない。
- ・ボールは**キックベース専用ボール**を使用する（※ボールは主催者で用意）
- ・選手交代（代打・代走など）については、主審にプレーが始まる前に申告し、主審が認めてから交代することとする。
- ・選手の交代は自由とするが、一旦試合から退いた選手はその試合には参加できない。
- ・先攻・後攻決めは試合前に両チーム代表者による、ジャンケンで決定する
- ・審判は参加チームによる持ち回りとする。（主審1名・塁審2名）

■打者のプレーについて

- ・**ホームベース上にボールを自身でセット**し、セットしたボールをキックしたら1塁へ走る。
- ・ボールを蹴る際の助走の距離は自由とする。

- ・ バントライン（5 m）を越えない打球はファール扱いとする。
- ・ ファール・空振りはすべてストライク扱いとし、2ストライクからのファール・空振りは**アウト**とする。
- ・ ファール・フェアの判定は野球等と同様の扱いとする
- ・ キッカーは1度セットした球に2回以上触れることはできない。（前へ転がしてから蹴る等の行為は禁止）但し、風などでセットしたボールが動いた場合はセットし直すことができる。
- ・ ホームランラインをノーバウンドで越えた場合はホームランとする。
- ・ ホームランラインをゴロで越えれば2塁打とする。
ただし、守備側の選手に触れて越えた場合は、フリーとする。

■ 走者のプレーについて

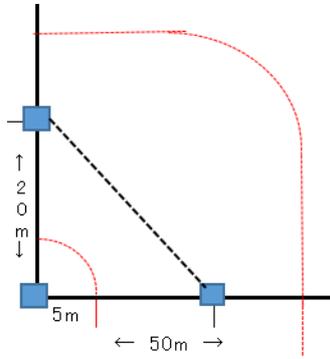
- ・ 走者は、打者がボールをキックするまでは離塁できない。（リードをとった場合はアウトとする）
- ・ 盗塁・タッチアップはなしとする。
- ・ 走者は、投げられたボールおよび野手からの触球（タッチ）を避けようとして、ベースラインから2 m以上離れた場合はアウトになる。

■ 守備側のプレーについて

- ・ 守備側のホーム上でのプレイは、守備側の選手にて行う。
- ・ 守備側は、フライの場合ノーバウンドで捕れば打者アウト。
（守備側の選手が弾いた球を他の野手がノーバウンドで取った場合も同様とする）
- ・ 野球等と同様にファールゾーンでのノーバウンドでのキャッチはアウトとする
- ・ ゴロの場合、守備側の選手が走者より先にボールを手にして塁に触れればアウト。
- ・ 守備側のボールの受け渡しは手や足・頭など、体のどの部分を使っても構わない。
- ・ 守備側の選手が走者にボールを当てた時点でボールはデッドとなり、他の走者は進塁できない。ただし、ボールが当たらなかった場合はフリーとなる。
例：ボールデッドの時点で走者が1・3塁間にいた場合は、走者3塁でストップ。ボールデッドの時点で走者が3・本塁間にいた場合、走者は本塁まで進塁できて1点が入る。
- ・ ホームランラインより外側にてノーバウンドでキャッチしてもホームランである。

■コートについて

- ・コートは三角ベースとし、コートサイズは以下の通りとする



- 本塁と1塁・3塁間の距離は20mとする
- ホームランラインの基準は50mとする
- バントラインは本塁から5mの距離とする